

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード		5-3-3		事業名	交通結節点改善事業(JR白石駅周辺地区)	
担当	建設局土木部道路課 長南 211 - 2617					
全 体 計 画						
事業内容	鉄道により分断されている市街地の一体化、交通結節点へのアクセス性の向上や公共交通機関の乗り継ぎ利便性の向上を図るために、交通結節点周辺における施設整備を一体的に行う。 ＜JR白石駅周辺地区＞ ○自由通路の新設と駅舎の橋上化 ○北口駅前広場の整備 ○交通容量の増大に対応した南口駅前広場の拡張 ○白石駅北通の整備 ○各施設のバリアフリー化			＜年度別の事業内容＞		
				(平成19年度) 白石駅北通整備着手 (平成20年度) 白石駅北通整備完了 人道橋・乗換跨線橋切替(仮設工事) (平成21年度) 自由通路整備着手 駅舎橋上化工事着手 (平成22年度) 自由通路・駅舎供用開始 北口・南口駅前広場整備		
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(決算)		
	(白石駅北通) 整備工事(幅員21m、延長320m) 用地取得 (北口広場) 仮設バス転回場整備(800㎡) 用地取得 (駅舎・自由通路) 移転補償			(白石駅北通) 整備工事完了(幅員21m、延長320m) 用地取得 (北口駅前広場) 仮設駐輪場整備(900㎡) 用地取得 (駅舎・自由通路) 人道橋・乗換跨線橋切替(仮設工事) 駅舎移転補償		
	平成21年度事業内容(予算)			平成22年度事業内容(予算)		
	(北口駅前広場) 暫定駐輪場・バス転回場整備(1,150㎡) 路盤工(650㎡) (駅舎・自由通路) 自由通路整備(平成22年度までの継続工事) 駅舎移転補償 (南口駅前広場) 駐輪場整備(500㎡)					

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	5-3-3		事業名	交通結節点改善事業(JR白石駅周辺地区)		
達成目標の状況						
項 目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
JR白石駅自由通路の整備	-	-	-	工事中	供用開始	供用開始
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)						
■ 市民との連携、市民参加 当事業は、地域から寄せられた要望などを元に事業化した取り組みであり、また、地域の住民の方々と構成しているJR白石駅周辺地区街づくり協議会と連携しながら事業を推進している。 ■ 企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] (該当なし) [情報協力] (該当なし) [その他の協力] JR・バス等の公共交通事業者と連携を図りながら整備やバリアフリー化を推進している。 ■ 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 定期的に事業の進捗状況や今後のスケジュールをJR白石駅周辺地区街づくり協議会へ報告・説明するなど、事業の推進に関する情報を地域の方々と共有することで、当該地区のまちづくりに参加しやすい仕組みとなっている。						
評 価 (成 果)			課 題			
平成22年度末の自由通路・橋上化駅舎の供用開始に向けて、予定通り事業を実施しており、当該地区の「アクセス性の向上」、「鉄道により分断されている南北市街地の一体化と活性化の向上」、「公共交通機関の乗り継ぎ利便性の向上」、「バリアフリー化」を図るべく事業を推進させることができた。			利用者の利便性を考慮した自由通路・駅前広場の活用ルールなどについて、引き続きJR白石駅周辺地区街づくり協議会や関係機関と連携し、検討を進める必要がある。			
今 後 の 事 業 の 予 定 ・ 方 向						
21年度から自由通路と橋上化駅舎の本格的な整備に着手し、22年度末(23年1月頃)の供用開始を予定している。このため、今後も地域の住民の方々やJR北海道などの関係機関と連携しながら、事業の円滑な推進を目指す。						

予算の計には、19年度から20年度への繰越分(45,000千円)を含まない。